

神にあって生きる

現在、教会に来られている方たちにも、神様との出会いがありました。
第22回目は、EMさんにその経緯を語っていただきます。

私が3歳の時に母親がクリスチャンとなり、私はその頃から母に連れられて教会へ通うようになりました。私は小さい時から気が強く、強情な子どもでした。教会にはずっと通っていましたが、小学校の後半になると、反発したりクラブ活動を優先して、教会へ行かなかったりする事もありました。教会へ行かなかった時は後ろめたい気持ちで、楽しむ事ができていませんでした。

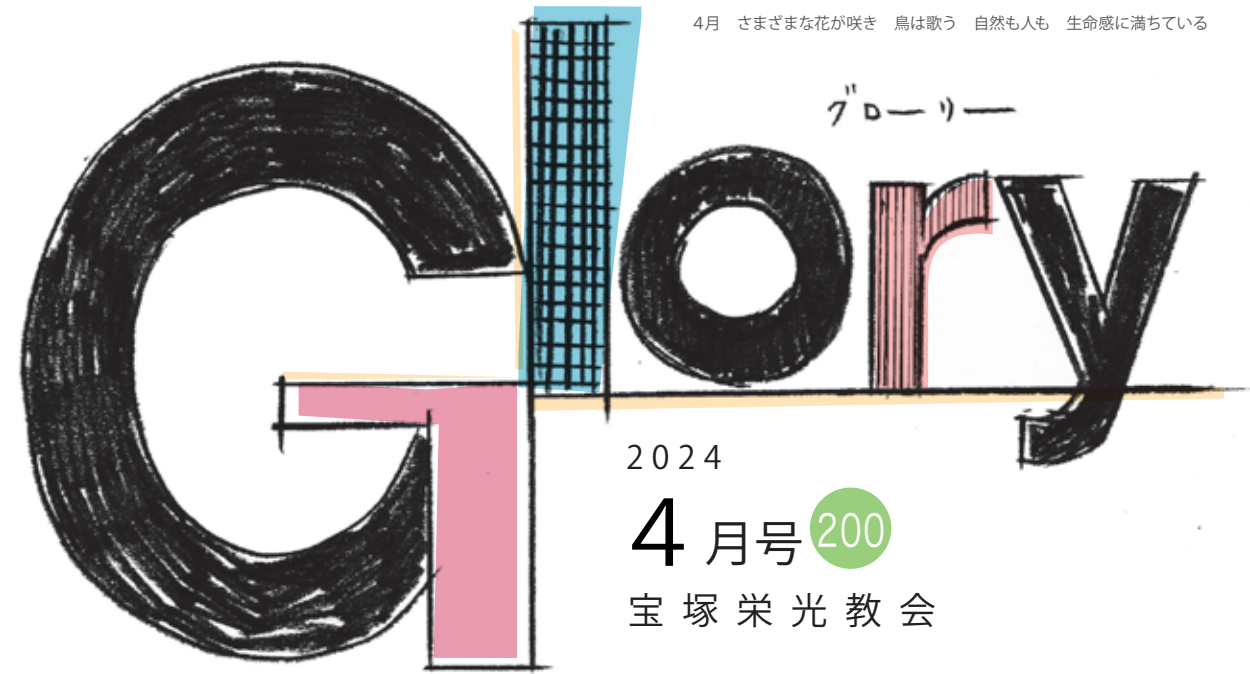
その後、夏のキャンプに参加し、夜のキャンプファイヤーのメッセージで、十字架のイエス様が「父よ、彼らをお赦してください。彼らは、自分が何をしているのかが分かっていないのです。」と祈られたと語られた時、イエス様の愛が心に迫ってきて、涙が止まりませんでした。

それから、聖書のみ言葉の一つ一つに向き合っていくと、み言葉に全くそぐわない自分、愛のない自分が分かってきました。いかに自分が自己中心に生きてきたか、人を嫌い妬む自分です。私の心には真っ黒な汚れがあり、それを自分ではどうやっても消す事ができません。このような自分ではクリスチャンにはなれない、地獄へ行くしかない、と思いました。しかし、

そんな時、神様の前に悔い改めるという事を教えて頂きました。神様が喜ばれない自分の心と今まで行なってきた事を神様の前に告白し、悔い改め、私の身代わりにイエス様が2000年前に十字架にかかって死んでくださったと信じました。すると、心に喜びがあふれ、確かに神様が私の全ての罪を赦してくださったという確信と安堵が与えられました。神様と和解させて頂いた喜びは、今まで味わった事のないものでした。

そして、その日から世界が全く変わりました。今まで生きてきた灰色の世界に鮮やかな色が付いて輝き出し、新しい世界を歩み出したと思えました。私の為に死んで、私の罪を赦してくださったイエス様の為に生きていきたいと心から思いました。

あの時から30年近く経ちますが、今もその思いは変わりません。そして、日々導きを与えてくださる神様に全く信頼して歩める事を感謝しています。



永遠の愛

人は愛を求めます。しかし本当の愛は、私たちの周りにはなかなか見当たりません。みな制限つきの愛、自己中心の愛です。どこに真の愛があるのでしょうか。神のもとにあります。

天地万物を創造された神は、私たちを愛していただきます。まことの神は、私たちに崇(たた)りを与えたり、バチを当てたりする神ではなく、私たちを愛してくださる神です。この神の愛には制限や条件はつきません。私たちは、神に逆らい、神を踏みこむ罪びとだったので、そんな私たちを、神はひとり子をくださるほど愛してくださいました。

神の子キリストは、神の栄光を捨ててこの世に来られ、十字架にかかられました。罪を犯して神から裁かれるべき私たちに代わって、裁かれるはずのない神の子が裁かれました。神から捨てられても仕方がない私たちが、捨てられないためです。これほどの愛はほかにはありません。

では、神は何のために、そこまで私たちを愛してくださるのでしょうか。私たちがこの世で勝利して歩むためです。何に対する勝利かと言うと、第一に罪への勝利です。自分の罪を悔い改め、キリストの十字架を信じるなら、だれでも罪の赦しが与えられます。神は私たちの罪を、海の深みに投げ入れるようにして、徹底的に赦していただきます。

第二に死への勝利です。人はみな死を恐れます。しかし、罪が赦された者は死を恐れませんが、天国の望みがあるからです。

そして、第三に困難への勝利です。この世では苦難や試練がありますが、勝利の主イエスが先頭に進んでくださいます。そういう勝利の歩みをさせるために、神は限りなく私たちを愛していただきます。

この神の限りない愛を受け取って、愛の中を歩いていきたいですね。真実な神は、こちらが真実に求めさえすれば、必ずそう歩む者にしてくださいます。

Question 08 教会によせられた質問にお答えします。

「初めにことばありき」というフレーズは聖書に書かれていると知りましたが、それは「言葉が全ての始まり、言葉が世界を作っている」という意味で間違いはないでしょうか。

いいえ、それは誤解です。確かに、新約聖書ヨハネの福音書1章1節にはそう書かれています。しかし、ここでの「ことば」は、天地が神によって創造される前から神と共におられた、キリストを指します。ですから、「初めにことばありき」とは、

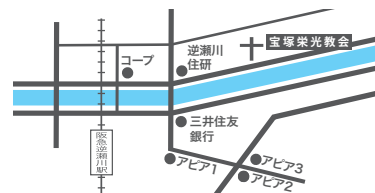
キリストが全てのものに先立って神と共におられたという意味なのです。そのキリストが人となってこの地上に来られ、十字架の死と復活を通して救いを成し遂げられました。これが、キリスト教の根幹となるメッセージです。

もっとお知りになりたい方は、教会までお尋ねください。

宝塚栄光教会 牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com https://www.takara-eikou.com



礼拝 毎週日曜日
10:30~11:40

希望のダイヤル (聖書のお話)
0797-77-3746
毎週更新。24時間つながります。
ホームページからも利用できます。



「カキドオシ」－ 薬用植物 －

草木が にぎやかに芽吹く この頃
土手や道端で よく見かけるのは カキドオシ
春になり 草丈が延びると 薄紫色の小さな花を咲かせている
日本の各地で見える草であるが
台湾 中国 朝鮮半島や シベリア東部にも分布している
花が咲き終わると 茎は横に倒れて 長く伸びていく
その勢いは 垣根も通り抜けてしまうほどであると
カキドオシ (垣通し) という名がついたと言われている

「垣通し」は 俳句では 春の季語にもなっている

茎や葉を揉むと よい香りがするのは 精油が含まれているからだ
また 小児の^{かん}疳の虫の民間薬として 利用されてきた薬用植物で
カントリソウ (疳取り草) と呼ばれる そして 解熱や利尿の薬でもある
海外では ハチミツで甘味をつけて ハーブティーとして飲んでいるという

丸い葉に淡い小さな花が咲く 可憐に見える花
実は「垣通し」という名がつく程 生命力が強く 逞しい花
春の野で見つけた カキドオシの力に驚いている

花嫁は 輝く清い麻の衣を着せられた
この麻の衣とは 聖なる者たちの正しい行いである。